

## 【重要】「模擬講義メモについて」

とくしま学博士を受験される方は、面接試験において実施する「模擬講義」の「板書案」である「模擬講義メモ」（様式3）を他の必要書類と併せて必ず郵送してください。

なお、「模擬講義メモの記載事項」及び「当日の模擬講義」については、下記のとおりです。

### 記

#### <模擬講義メモ（様式3）について>

1. 「模擬講義メモ」に記載する【講義テーマ名】は、ご自身が「とくしま学博士」に認定された場合に実施する(予定)講義テーマを記載してください。
2. 「模擬講義メモ」に記載する【講義要約】は、面接試験時に実施する講義内容の要約（レジュメ）を1枚（様式3の範囲内）にまとめて記載してください。様式に合わせてパソコンで作成していただいても結構です。ただし、1枚に収まるように記載してください。

#### <当日の模擬講義について>

1. 当日の「模擬講義」については、ご送付いただきました「模擬講義メモ」に記載されている【講義テーマ】により実施します。
2. 「模擬講義」は起立形式とし、実際に生徒を前に行うイメージで進めてください。  
※着席形式は原則不可としますので、予めご了承ください。  
（「模擬講義メモ」のコピーは、模擬講義中の参照程度として見ていただいても結構です。）
3. 講義内容及び時間については、受験者が「一番伝えたい」部分について10分間で行ってください。
4. 面接会場内には、白ボード、水性インク（黒、青、赤）、マグネットをご用意しておりますので、当日ご使用いただいても結構です。  
なお、10分間を厳守とするため、プロジェクターを用いた講義は原則不可としますが、どうしても必要な場合は、事前にお申し出ください。
5. 試験員が合図をしたら講義を開始してください。